



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月29日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 吉田尚洋
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理本部長(氏名) 杉本貞章 (TEL) 054-205-6363
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	9,376	39.5	1,077	250.9	1,227	79.1	788	72.1
2021年3月期第2四半期	6,722	△37.1	307	△61.7	685	△33.1	458	△31.3

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 929百万円(91.0%) 2021年3月期第2四半期 486百万円(△27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	106.21	—
2021年3月期第2四半期	62.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第2四半期	31,812	21,820	68.2
2021年3月期	37,247	21,423	57.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 21,686百万円 2021年3月期 21,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	47.00	47.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	48.50	48.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	4.4	2,400	44.7	2,500	3.2	1,550	6.1	206.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社YCK 、除外 1社(社名) 東海道リート投資法人
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期2Q	8,030,248株	2021年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	781,250株	2021年3月期	532,407株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期2Q	7,426,724株	2021年3月期2Q	7,383,555株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き厳しい状況で推移いたしました。変異株等による感染拡大により度重なる緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が実施されましたが、直近ではワクチン接種率の増加や感染対策の浸透などもあり9月末をもって緊急事態宣言などは解除されました。また海外経済におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により減速していた世界経済が先進国を中心にワクチン接種の進展に伴い経済活動の再開により徐々に回復傾向が見られました。

当社グループが属する不動産業界でも厳しい状況で推移いたしました。このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、流動性の高い不動産を確保し企業誘致や宅地造成などの提案や在庫分譲マンションの早期完売などの積極的な営業活動を推進してまいりました。また、資産運用会社が資産の運用を受託する東海道路リート投資法人は6月に東京証券取引所不動産投資信託証券市場に上場いたしました。不動産証券化事業への取組みとして不動産投資法人の上場を機に今後より一層、産業・生活インフラアセットへ投資することを目的とした収益不動産の開発・獲得・供給を積極的に行ってまいります。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、製品製造部門より撤退し、当期より製品企画などを強みとする営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は93億76百万円（前年同四半期比39.5%増）、営業利益は10億77百万円（前年同四半期比250.9%増）、経常利益は12億27百万円（前年同四半期比79.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億88百万円（前年同四半期比72.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、在庫分譲マンションの引渡しが進みましたが、減収減益となりました。

この結果、売上高は4億22百万円（前年同四半期比27.3%減）、セグメント利益（営業利益）は16百万円（前年同四半期比62.1%減）となりました。

②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、不動産投資法人への収益不動産の引渡しに加え、分譲宅地や商工業施設用地などの引渡しが順調に行われたことにより、増収増益となりました。

この結果、売上高は52億9百万円（前年同四半期比42.0%増）、セグメント利益（営業利益）は9億62百万円（前年同四半期比55.5%増）となりました。

③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、資産運用会社の売上や請負工事売上が順調に推移したこともあり、大幅な増収増益となりました。

この結果、売上高は22億67百万円（前年同四半期比88.5%増）、セグメント利益（営業利益）は3億58百万円（前年同四半期比332.3%増）となりました。

④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、製品企画などを強みとする営業活動を実施し、増収増益（セグメント損失）となりました。

この結果、売上高は7億51百万円（前年同四半期比23.9%増）、セグメント損失（営業損失）は8百万円（前年同四半期は1億45百万円のセグメント損失）となりました。

⑤その他

その他事業におきましては、缶飲料製造の売上高が増加したものの費用増をまかなえず、増収減益となりました。

この結果、売上高は7億24百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益（営業利益）は36百万円（前年同四半期比4.4%減）となりました。

なお、記載金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は318億12百万円（前連結会計年度比14.6%減）となりました。

流動資産は、販売用不動産などが減少したものの、現金及び預金などが増加したことにより、262億77百万円（前連結会計年度比2.0%増）となりました。固定資産は、投資有価証券などが減少したことにより、55億34百万円（前連結会計年度比51.8%減）となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金などが減少したことにより、63億81百万円（前連結会計年度比55.1%減）となりました。固定負債は、長期借入金の増加などにより、36億10百万円（前連結会計年度比123.8%増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は218億20百万円（前連結会計年度比1.9%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は68.2%（前連結会計年度比10.8ポイント増）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、25億84百万円（前年同四半期比123.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益（12億30百万円）や、棚卸資産（主として販売用不動産）の減少（6億86百万円）などによる資金調達に対し、仕入債務の減少（△13億57百万円）や法人税等の支払（△7億31百万円）などにより支出した結果、営業活動により得られた資金は1億78百万円（前年同四半期は24億54百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

匿名組合出資金の払戻による収入（64億61百万円）や投資有価証券の売却による収入（9億16百万円）などによる資金調達に対し、投資有価証券の取得（△12億66百万円）などにより支出した結果、投資活動により得られた資金は59億95百万円（前年同四半期は2億30百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入（24億35百万円）などによる資金調達に対し、短期借入金の純減（△59億56百万円）や長期借入金の返済（△6億12百万円）などにより支出した結果、財務活動により支出した資金は47億21百万円（前年同四半期は18億37百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2021年4月30日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,639,247	2,884,230
受取手形及び売掛金	693,726	651,950
商品及び製品	71,210	22,804
仕掛品	270	—
原材料及び貯蔵品	14,030	8,850
販売用不動産	22,607,189	22,391,363
未成工事支出金	148,952	3,138
その他	586,594	320,104
貸倒引当金	△2,714	△4,725
流動資産合計	25,758,508	26,277,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,177,728	476,535
土地	2,450,416	1,655,252
その他（純額）	92,123	109,938
有形固定資産合計	3,720,267	2,241,726
無形固定資産	63,000	56,193
投資その他の資産		
投資有価証券	7,202,673	2,733,785
繰延税金資産	200,914	145,855
その他	373,150	429,448
貸倒引当金	△71,097	△72,318
投資その他の資産合計	7,705,640	3,236,771
固定資産合計	11,488,908	5,534,691
資産合計	37,247,417	31,812,408
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841,163	484,049
短期借入金	10,001,550	4,045,000
1年内返済予定の長期借入金	490,956	292,901
未払法人税等	721,726	352,299
賞与引当金	43,442	45,710
役員賞与引当金	144,000	—
その他	967,758	1,161,771
流動負債合計	14,210,598	6,381,731
固定負債		
長期借入金	968,390	2,976,085
その他	644,861	634,130
固定負債合計	1,613,251	3,610,216
負債合計	15,823,849	9,991,948

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,598,300	3,587,284
利益剰余金	17,980,580	18,471,856
自己株式	△355,334	△635,530
株主資本合計	21,323,546	21,523,610
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	68,871	162,784
その他の包括利益累計額合計	68,871	162,784
非支配株主持分	31,150	134,065
純資産合計	21,423,568	21,820,460
負債純資産合計	37,247,417	31,812,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	6,722,519	9,376,070
売上原価	5,479,076	7,364,621
売上総利益	1,243,443	2,011,449
販売費及び一般管理費	936,321	933,615
営業利益	307,121	1,077,833
営業外収益		
受取利息	135	76
受取配当金	9,542	8,674
仕入割引	3,387	3,158
匿名組合投資利益	348,520	134,327
受取手数料	1,899	1,877
その他	65,577	38,270
営業外収益合計	429,062	186,385
営業外費用		
支払利息	36,367	33,888
損害賠償金	12,000	—
その他	2,610	3,325
営業外費用合計	50,977	37,214
経常利益	685,206	1,227,004
特別利益		
固定資産売却益	399	3,931
特別利益合計	399	3,931
特別損失		
固定資産売却損	563	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	563	0
税金等調整前四半期純利益	685,043	1,230,935
法人税、住民税及び事業税	257,248	388,291
法人税等調整額	△30,802	6,958
法人税等合計	226,445	395,249
四半期純利益	458,598	835,686
非支配株主に帰属する四半期純利益	204	46,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	458,393	788,787

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
四半期純利益	458,598	835,686
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,129	93,913
その他の包括利益合計	28,129	93,913
四半期包括利益	486,727	929,599
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	486,523	882,701
非支配株主に係る四半期包括利益	204	46,898

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	685,043	1,230,935
減価償却費	46,515	39,615
匿名組合投資損益 (△は益)	△348,520	△134,327
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,102	3,231
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,306	2,267
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△70,000	△144,000
株式報酬費用	94,125	44,150
受取利息及び受取配当金	△9,677	△8,751
支払利息	36,367	33,888
損害賠償金	12,000	—
固定資産売却損益 (△は益)	163	△3,931
固定資産除却損	—	0
売上債権の増減額 (△は増加)	95,681	108,655
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,171,255	686,419
未収消費税等の増減額 (△は増加)	44,412	126,364
仕入債務の増減額 (△は減少)	△459,401	△1,357,113
未払金の増減額 (△は減少)	△45,204	△80,205
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,107	264,944
前受金の増減額 (△は減少)	723,371	1,712
預り金の増減額 (△は減少)	△21,214	△2,266
その他	105,325	118,834
小計	△2,291,579	930,425
利息及び配当金の受取額	9,683	8,734
利息の支払額	△36,779	△29,276
損害賠償金の支払額	△12,000	—
法人税等の支払額	△124,245	△731,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,454,920	178,594
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△33,837	△46,486
固定資産の売却による収入	409	5,560
投資有価証券の取得による支出	—	△1,266,000
投資有価証券の売却による収入	255,688	916,996
匿名組合出資金の払戻による収入	—	6,461,803
保険積立金の解約による収入	—	7,280
貸付金の回収による収入	1,609	1,575
その他	6,905	△85,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	230,774	5,995,477

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,772,500	△5,956,550
長期借入れによる収入	620,000	2,435,000
長期借入金の返済による支出	△226,984	△612,997
自己株式の取得による支出	—	△280,195
配当金の支払額	△327,666	△351,735
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	—	45,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,837,849	△4,721,478
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△386,297	1,452,593
現金及び現金同等物の期首残高	1,543,228	1,339,247
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△207,610
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,156,931	2,584,230

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

当社は、2021年7月30日開催の取締役会決議に基づき、自己株式248,800株の取得を行っており、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が280,148千円増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間末において、自己株式は635,530千円となっております。

(会計方針の変更)

(「収益認識に関する会計基準」の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(「時価の算定に関する会計基準」の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	581,833	3,667,150	1,202,975	606,652	6,058,612	663,907	6,722,519
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,017	186,621	189,638	3,421	193,059
計	581,833	3,667,150	1,205,993	793,274	6,248,251	667,328	6,915,579
セグメント利益又は損失 (△)	43,961	618,601	82,876	△145,248	600,191	38,084	638,276

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、飲食事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	600,191
「その他」の区分の利益	38,084
セグメント間取引消去	15,175
全社費用 (注)	△346,330
四半期連結損益計算書の営業利益	307,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	422,947	5,209,133	2,267,565	751,468	8,651,113	724,957	9,376,070
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	3,000	102,757	105,757	1,739	107,497
計	422,947	5,209,133	2,270,565	854,226	8,756,871	726,696	9,483,567
セグメント利益又は損失 (△)	16,677	962,210	358,296	△8,042	1,329,141	36,426	1,365,567

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,329,141
「その他」の区分の利益	36,426
セグメント間取引消去	△2,468
全社費用 (注)	△285,265
四半期連結損益計算書の営業利益	1,077,833

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。